$(\cdot,2)$ 

⑩ 日本国特許庁 (JP)...

⑩特許出願公開

⑩公開特許公報(A)

昭59-175299

©Int. Cl.<sup>3</sup> H 04 R 17/00 17/10 識別記号 101

+49-89-820477141

庁内整理番号 7326—5D A 7326—5D **63**公開 昭和59年(1984)10月4日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 2 頁)

## **网超音波送受波器**

②特 顧 昭58-49989

**Ø出** 願 昭58(1983) 3 月24日

⑩発 明 者 石川勝博

刈谷市昭和町1丁目1番地日本 電装株式会社内

①出 願 人 日本電装株式会社

刈谷市昭和町1丁目1番地

②代 理 人 弁理士 岡部隆

明 報 音

1. 妈明の名称

超音波送受放器

2, 特許結束の範囲

振動板と関板とで構成されるケース内の前記録 動板の内壁に圧離素子を配扱した経音被送受被器 において、前記級動板の経際部を海劫させるとと もに、前記例板との境界部をピン角とするように した経音被送受致器。

3. 短期の辞報な説明

本殊明は電気信号を組合被あるいは組合故を電気信号に変換する組合数送受赦義に関するものである。

従来の超音級送受被器について、第1回、第2 関とともに級明する。この第1回、第2回におい て、1は片側が開放機となっているケースで、疑 動板1aと側板1bより提成されており、圧低率 子2が駆動板1aの内壁に接着されている。3は 投験的の値子板、4,4,4,4,5,5,5,4,9 一と様である。そして、個子4はリード級5で圧 職数子2の表面に焼付等の方法で付加された報格と海道がとられ、漢子4、はアース領子で、リード級5、でケース1と導通がとられている。

今、端子4、4、間に所定の共振周被数の電気信号が印加されると、匠電素子2が低気機械変換器子として動作するため、振動板1 mが共張し、印加電圧に応じた強さの超音能を発生する。また途に、疑動級1 mに、その共假周は数の超音能を印加すると、端子4、4、間にその潤波数で、かつ音圧に応じた大きさの電気信号を発生する。

ここで、取1回のようにケース1の紙動板入立 と側板1bの板準を同じにした形状においては、 級動が側板1bに伝わり扱く、実質振動面が火色 くなる。これを側面支持で固定した場合、態度の 低下及び失張掲載数等振動特性が不安定となりや すい。

第2回は上記欠点を描うために改良を加えたもので、 挑板 1 bの版像を振動板 1 aの板厚に対し 十分に係くすることにより機動板 1 aの機動の干 砂を機板 1 bに及ぼさないようにしたものである。

1.

٠2.

ill

## 預開昭59-175299(2)

しかし、これは顕動観程が小さくなり、出力音圧 あるいは受信感度が低下するという久点を育する。 水発明は上級問題点に避みたもので、その目的 とするところは、振動板の振動を倒板に伝えにく くし、かつ振動板の振動損糧を低下させることが ない経音波送受波器を提供することにある。

+49-89-820477141

以下本発明を図に示す実施例について設明する。 第3回はその一実施例を示す顕面図であり、第1 間、第2國と同一符号の部分は同一又は均等の部 分であることを示している。この男3図に示すよ うに、協動板1aの経開部は海血しており、伝動 板えるの最大径し、より小なる径しなの位状例板 1bとともなケース1を構成している。また、塩 動級しょと側板16の境界部6はピン判となって U &.

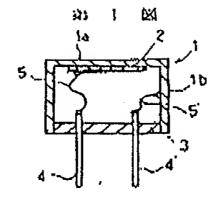
この一実施例にて例示する如く、本発明は、級 動板の緑淵郡を海曲させているから、級動部分の 機能的インピーダンスを低下させて機動板の振動 絨幅を削上させることができ、さらに振動板と倒 板の境界部をピン角となるように構成しているか ら、振動板からの振動が側板に伝わりにくく、従 って、倒板固定時の感度低下を防止し共級関波数 等の設動特性の安定化を殴ることができるという 後れた効果がある。

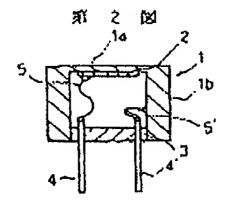
## 4. 図面の簡単な説明

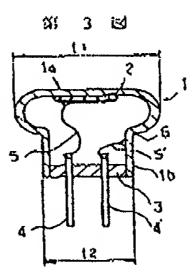
第1回、第2回は従来の経管改造党政制の断面 図、第3回は本苑明の一実施例を示す超音数送受 放耳の断両図である。

1 …ケース、1 \* …版動板、1 b …関板、2 … 压量素子、6…境界部。

> 松 代度人弁理士 岡 8R







-10- (JAPIO)

Z TI - ULTRASONIC WAVE TRANSCEIVER

PN = 84.10.04 J59175299, JP 59-175299

PA - (2000426) NIPPON DENSO CO LTD

IC - H04R-017/00; H04R-017/10

AB - PURPOSE: To improve the amplitude of vibration of a diaphragm and also to prevent the vibration from the diaphragm from being delivered to a side plate by bending the ridge circumference part of the diaphragm and also forming a boundary part with the side plate as a pin corner.

CONSTITUTION: The ridge circumferential part of the diaphragm 1a is curved and constitutes a case I together with a cylindrical side plate 1b having a diameter t2 smaller than the maximum diameter t1 of the diaphragm 1a. Further, the boundary 6 between the diaphragm 1a and the side plate 1b is formed as a pin comer. A piezoelectric element 2 is fitted in the inside face of the diaphragm 1a, a prescribed electric signal is impressed to the piezoelectric element 2 via terminals 4 and 4' and an electric signal is led out from the piezoelectric signal.